

1. 委員会

（1）委員構成

技術委員 14 社 15 名 + 部会長・分科会主査 6 名（内 1 名は技術委員を兼務）＝計 20 名

（2）開催回数

定例会は、原則 1 回／月。メール書面会議、WEB 併用会議により 10 回開催。

2. 関係官公庁、関係機関への協力事項

2.1 国土交通省「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」等の改定

国土交通省からの依頼で、標準仕様書類改定に協力した。令和7年版として発刊される。

対象図書：「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」

「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」

「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和4年版」

活動期間：2023年4月～2025年3月の2か年

2.2 機械設備工事監理指針 令和4年版の改訂

公共建築協会からの依頼で、2.1項の図書の解説書を改訂する機械設備工事監理指針改訂委員会へ委員を派遣した。活動期間 2025 年 3 月まで。令和7年版として発刊される。

2.3 消防用設備等の経年劣化等に対応した点検方法等検討会（保形ホース）

日本消防設備安全センターからの依頼で、耐圧性能の点検基準のない保形ホースの点検要領を検討する検討会へ委員を派遣した。活動期間 2025 年 3 月まで。

日本消防設備安全センターがまとめた報告書を消防庁予防課へ3月提出した。

2.4 消防用設備等のリモート点検に関する意見聴取会

日本消防設備安全センターからの依頼で、点検資格者の人員不足解消や点検業務の効率化などを図るための基礎情報として、点検従事者からの意見をアンケート方式で収集する検討会へ委員を派遣した。活動期間 2025 年 3 月まで。

3月開催の検討会でアンケート結果の共有と意見交換を行い終了。

2.5 JIS 改正原案作成委員会（2件）

各事務局からの依頼で、JIS 改正原案作成委員会へ委員を派遣した。活動期間：2025 年 3 月まで。

日本消火装置工業会は、使用者の立場から改正案に対しての意見を求められている。

「JIS B 2308 ステンレス鋼製ねじ込み式管継手」事務局：日本金属継手協会

「JIS B 2309 ステンレス鋼製突合せ溶接式管継手」事務局：ステンレス協会

3. その他

3.1 火災予防業務協力者等の推薦

東京消防庁予防部長表彰の被表彰者の推薦に協力した。

3.2 地区別業務運営懇談会

中部支部から例年9月開催の懇談会への資料提供依頼があり協力した。

3.3 消火設備の設置及び技術基準（第3版）の発刊

会員企業から派遣された委員で構成する基準改訂編集 WG が、2023 年 6 月から鋭意活動していたが 2025 年 1 月発刊に至った。

以上